

## 就業者向け現場見学 (2014/11/08 4面) 建設業の魅力を確認



また同日は、県から受託して進める建設業人材確保・育成事業(地域づくり事業)の一環で「建設業求職者向け現場見学会」も同時に実施＝写真＝。建設業への就業を考えている新卒学生から社会人まで10人が参加し、生の建設現場を肌で感じたほか、就職に当たって気になる点などの意見をそれぞれ交わした。

参加者は、鹿児島工業高校の生徒らと一緒に3現場を見学。担当者の説明に耳を傾けるも専門的知識を持ち合わせていない人も多く、パンフレットや資料を目に、参加者同士でお互いに確認したり、協会職員などに質問するなど、少しでも建設現場の現状を知ろうと真剣に取り組んでいた。



終了後は、県建設センターで意見交換会も実施。参加者が5人ずつのグループに分かれ、(株)野添組の宮下悟営業課長と(有)平組の平峰恒成社長がそれぞれ仕事の楽しさや厳しさ、物づくりの喜びなどを説明。参加者からは「現場での安全面は」「休日や手当などの福利厚生は」「建設業の経験値の必要性は」など、建設業に抱く不安点などを確認。宮下課長や平峰社長は「経験値はなくてもやる気のある人材が求められている」「規模にこだわらず、本当にしたいことができる会社を選んでほしい」と促した。



種子島久志事務局長は「興味を抱いていただいたので、ぜひ建設業に従事を」と話した。

[更新:2014/11/10 No:662350]